

美甘章子（みかもあきこ） 英国における受賞のお知らせ

このたび、美甘章子（みかもあきこ）が今年11月、Awards for Exceptional Service for Peace and Prosperity, Nationally and Internationally（2014年度 世界平和と繁栄のための国内外の類稀な貢献に対する賞）を受賞することが決まりました。

同賞はプリンス・ムーシン・アリ・カーン（インドの旧イスラム藩王国の王族でロンドン在住）が議長で、同プリンスとフランシス・ステイントン参事官（前ハーマスミス・アンド・フラム・ロンドン特別区長）らが創始者のThe World Peace and Prosperity Foundationから贈られます。

美甘章子の著書、"Rising from the Ashes: A True Story of Survival and Forgiveness from Hiroshima"（日本語版「8時15分 ヒロシマで生きぬいて許す心」）と、被爆者で主人公の父美甘進示（みかもしんじ）の人生と許しのメッセージが世界平和と次世代の繁栄に特別な貢献をしている、という理由で、選考委員会満場一致で受賞が決定しました。

受賞対象者は、宗教を超えて、逆境を乗り越えたり、医学や科学の分野で抜きん出た貢献をしたり、子供達の人生を変える影響を与えたリーダーということです。

2012年の初回受賞者の一人は、2014年のノーベル平和賞の受賞者であり、タリバン統制の下、女子も教育を受けたいと訴え、14歳の当時タリバン兵に頭部銃撃され瀕死の重傷を負いながら一命を取り留め、全人民が教育を受けられるようにと国連をも動かしたパキスタンの少女人権運動家マララ・ユサフザイでした。

授賞式は今年11月11日に、英国議会貴族院議員、ラノーク（スコットランド）のマルコム・ピアソン侯のご招待で、ロンドンのウェストミンスター宮殿にある英国議会貴族院のチャムリー（Cholemondeley）晚餐室において、イギリス内外の貴族・名士の御参席により行われます。日米の駐英大使も招待されるとのことです。

被爆二世である美甘章子による英語の著作"Rising from the Ashes: A True Story of Survival and Forgiveness from Hiroshima"はBBCのラジオ放送や、ウェブマガジンで大きく取り上げられ、欧米でも大きな反響をよんでいます。このことが英国での受賞につながりました。著書は2014年7月「8時15分 ヒロシマで生きぬいて許す心」として日本語でも出版されています。

<お問い合わせ先>

- 一般社団法人 フォーギブネス フロム ヒロシマ 担当:西田
〒151-0071 東京都渋谷区本町3丁目22-1
HP: <http://www.f-hiroshima.org/>
TEL: 03-5309-2904
Eメールアドレス: info@f-hiroshima.org



「8時15分 ヒロシマで生きぬいて許す心」 あらすじ

1945年8月6日午前8時15分、19歳の主人公美甘進示（著者の父）と福一（同祖父）は建物疎開作業中に爆心地から1.2kmで被爆。二人は廃墟となったヒロシマの町で助けを求めて歩き廻る。瀕死の進示は、5日後郊外の避難所で福一と離ればなれとなり、生死の境を何度も彷徨う。奇跡的に一命をとりとめ数ヶ月後退院するが戦争孤児となった進示は、戦後も身寄りが無いための差別、貧困、長女の障害、自身の病気など究極の困難に次々と見舞われる。が、アメリカを恨まず、周りへの感謝の気持ちを持ち続けて努力を重ね、爆心地から800mで被爆した妻美代子と力を合わせて、家族と自営業を発展させる。



国民服を着た
16歳の進示



福一(進示の父)と
千代乃(進示の生母)



福一の懐中時計

戦後、進示は自宅跡の灰の中から、8時15分の針の跡が焼き付いた福一の懐中時計を見つけ出した。広島原爆資料館に寄贈された形見の懐中時計は、1985年にニューヨークの国連本部の展示場に永久貸与され太平洋を渡ることとなる。進示は次女の章子に「憎むべきは戦争であってアメリカではない。英語や多文化をしっかりと学習して、立場の違う人たちの橋渡しとして平和な世界のために貢献しなさい。」と言いきかせ育てていた。その章子が1989年に臨床心理学の博士号をめざして渡米し、祖父福一の懐中時計に再会するために国連本部へ行ったところ、展示してあった時計の盗難が発覚した。

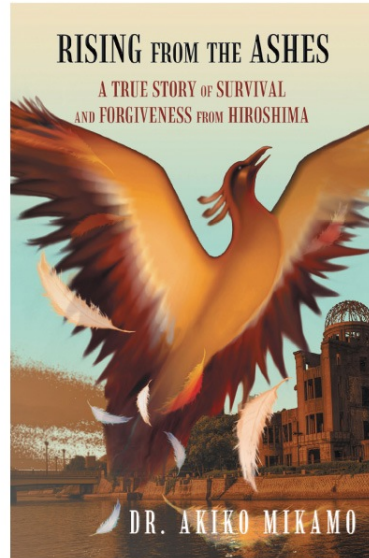
ただ一つの家族の遺品を盗まれ進示は多大なショックを受けるが、「恨みではなく許すこころ」を章子に諭す進示のもとに、思いがけない贈り物が届く・・・



「8時15分 ヒロシマで生きぬいて許す心」



7月10日全国の書店、Amazon で発売
(講談社エディトリアル刊) 1500円 (税別)



原題
“Rising from the Ashes:
A True Story of Survival and Forgiveness
from Hiroshima”

著者 美甘章子 心理学博士 略歴



被爆した両親の次女として広島市で生まれる。広島大学教育学部卒業後、高校の英語科講師などを経て1989年に渡米。北アリゾナ大学大学院で教育学修士、カリフォルニア心理学専門大学院で心理学博士、フランスの国際ビジネススクール INSEAD でコンサルティング学エグゼクティブ修士、アライアント国際大学で後博士号臨床精神科薬理学修士等を取得。渡米後、多様な現場で臨床心理と薬物中毒治療などの経験を積み、1995年よりカリフォルニア州サンディエゴ市で臨床心理ドクターとしてクリニック開業。2012年に日本人では初の臨床心理医免許を取得し、精神科投薬相談も受ける。US-Japan Psychological Services 代表として、心理療法、精神鑑定、組織コンサルテーション、エグゼクティブ・コーチング、スポーツメンタルコーチング等に従事し、大学院教育や執筆・講演活動にも携わる。

NPO「サンディエゴ・ウィッシュ〜世界平和を願う会」(San Diego-WISH:Worldwide Initiative to Safeguard Humanity) の代表として、全人類・異文化・国家間の平和と調和の促進を目指しさまざまな啓蒙活動を行っている。